

宇部市新庁舎2期棟ユニバーサルデザイン意見交換会 ～意見への対応～

日時	令和5年11月15日(水) 9:00～11:30 14:00～16:30
場所	宇部市役所 3階 防災情報センター・会議室 3-3

意見・要望の要約	2期棟での対応方針等
【誘導ブロック】	
設置場所や色、規格等は配慮してほしい。	設置場所は合理的配慮に基づき検討します。色や規格等はJIS規格を基準に、今後も提言者等の意見を伺いながら、より認識しやすい製品を選定していきます。
【障害者等用駐車場】	
駐車区画の後方スペースを広く取ってほしい。	新設する障害者等用駐車場には、後方スペースを広く確保できる区画を計画します。
【サイン】	
背景とのコントラストをとる、弱視の方のために文字を少し大きめにする、ルビを振るなど、より情報を受け取りやすくしてほしい。	読みやすい字体、大きさ、配色、場所などについて配慮し、より情報が受け取りやすいサインにします。
場所や高さに配慮してほしい。	
点字の説明が略字になっている。	JIS規格が略字となっているため、これに基づく設置となります。
【誘導支援設備・インターホン】	
1期棟は複数の音声案内が流れており、聞き取りにくい。	各設備の音量を調整することで、聞き取りやすきの確保に努めます。
盲動鈴の音を出入口ごとに変えてほしい。	出入口ごとに、異なるメロディーの盲導鈴とします。
触知案内図を触ったら、音声でその場所を案内してくれるなどの機能がほしい。	ソフト面(職員によるサポート)で対応します。
インターホンは、音声で応答されても聴覚障害者には分からない。	
車椅子使用者に配慮した位置を検討してほしい。	インターホンは床面から1m程度の高さに設置します。
非常時の誘導について、音声案内だけでは聴覚障害者は気づけない可能性がある。	多目的ルームや会議室などには、自動火災報知設備と連動した警告灯(フラッシュラ

	イト)を設置します。
人感センサー等で急に音が鳴る設備について、告知があると助かる。	すべてを施設内で告知することは困難なため、市ウェブサイトで音が鳴る場所の周知を図ります。
【トイレ】	
扉が黒でトイレであることが分かりにくい。	1期棟との統一性から色は黒を基本としますが、トイレと認識しやすい表示をします。
1期棟はサインの位置が高すぎる。	見やすい位置に設置します。
1期棟は英語や韓国語の表示がない。音声案内を含め、特にアジア各国の言語に対応してほしい。	情報量が多くなりすぎて分かりにくくならないよう、情報量を勘案した表示とします。また、市ウェブサイトで、トイレに設置している機能などについて周知を図ります。
みんなのトイレについて、左右の片手でも使用が容易なことが、建物やトイレ入口などで認識できるようにしてほしい。	
1期棟はみんなのトイレの「使用中」の表示が見えづらく、文字が小さい。	認識しやすい表示を選定します。
男性用小便器は、自動で水が流れることが分かるようにしてほしい。	小便器付近に説明文を掲示することに加え、市ウェブサイトでの周知を検討します。
可動式手すりについて、どうすれば下ろせるか分かるようにしてほしい。	可動式手すり付近に説明文を掲示します。
みんなのトイレの取手は、丸いパイプ状のしっかり握れる形状が良い。	掴みやすい形状のものを選定します。
1期棟の非常用ボタンは、みんなのトイレにはあるが、男女トイレにはない。	男女トイレの個室に、非常用ボタンを設置します。
視覚障害者は配置を覚えて行動するため、小便器や大便器や手洗器など、レイアウトは全て共通にしてほしい。	男女トイレは基本的に同じレイアウトとなるようにします。みんなのトイレは、右利き、左利きの2種類のレイアウトとします。
性犯罪や幼児への犯罪防止の観点から、トイレの個室に子どもが待つための椅子がほしい。	トイレの個室の大きさは、椅子を置くことを想定して設計していないため、対応は困難です。
女性トイレに男子用小便器があると、男児を一人でトイレに行かせなくて済む。	1階のみんなのトイレに、子ども用便座を設置します。

子育てをしている男性もいることから、男性トイレにも、女性トイレと同様にベビーチェアや椅子が必要。	男性トイレにも、女性トイレと同数のベビーチェアを設置します。
男女トイレに、車椅子で入れる個室を作ってほしい。	各階に設置するみんなのトイレをご利用ください。
1期棟のみんなのトイレの手洗器は、車椅子では足が当たるため、手が洗えなかった。	1期棟と同様、標準型車椅子に対応した製品を選定します。
【授乳室】	
1期棟は男性を制限する表示がないため、授乳しにくい。	黒いドアやカーテン仕切りを取り止め、授乳室と給湯室を一体化させます。1組のみの使用とすることで、男性に限らず他の利用者が入れないようにします。
1期棟は奥のドアが黒で圧迫感がある。	
1期棟は授乳スペースが狭く一人しか授乳できないので、椅子を複数置いた上で、お互いが見えないように配慮してほしい。	
カーテンでの仕切りでは開けられる可能性がある。	
兄弟児を連れて入った場合、ドアの鍵を外す可能性があり、給湯操作に目が届かなく危ない。	低い位置と高い位置の両方に鍵を設置することで、幼児が容易に解錠できないようにします。
授乳クッションや円座があるとより使いやすい。	設置を検討します。
ミルク用のお湯が出る蛇口があるようだが、使って良いのか分かりにくい。	蛇口付近に説明文を掲示します。
授乳とおむつ替えはセットですので、柵付きのベッドがあると良いと思う。	柵付きのベッドを設置します。
ミルクを作るときに子どもを待たせられるベビーチェアがあれば良い。	ベビーチェアを設置します。
【床材・階段】	
車椅子では、カーペットの床は動きにくい。また、床材によってはタイヤの音鳴りがする。	車椅子で動きやすく、音鳴りがしにくい床材を検討します。

立体駐車場の連絡通路から1期棟の2階に移動する際、雨や雪の日だと靴が濡れて、1期棟に入ったときに少し滑る。	出入口などにマットを設置します。
階段の手すりは、分かりやすく持ちやすいものにしてほしい。	分かりやすく持ちやすいよう、丸型のものを選定します。
階段の踏面と段鼻の色が同じだと分かりにくい。	踏面と段鼻が区別しやすい色を選定します。
【その他】	
自閉症の方がパニックになった時に落ち着けるようなスペースがあるとよい。	1期棟1階、2期棟1・3階に設ける授乳室をご利用ください。
2階の会議室の反対側の通路からもトイレに入れるようにしてほしい。	防犯上又は運用上の観点から、出入口を増やすことは困難です。
聴覚障害者用の筆談ボードやアプリでの文字の表示などの対応を検討してほしい。	聴覚障害者への円滑な対応を検討します。
タクシーの停車位置や乗車位置は、定位置化してほしい。	2期棟東側(市道栄町線側)のロータリーにタクシーの乗降場所を整備します。また、タクシー会社に場所を周知し、利用者への配慮に努めます。
手すりの設置により、杖の使用者や足が不自由な方が小休憩などできるとよい。	通路などに椅子を設置するよう検討します。
市民交流スペースに小さい子ども用の椅子があると良い。	子ども用の椅子を設置します。
飲食スペースにミルク用のお湯があると良い。	各階に設ける授乳室や給湯室をご利用ください。
照明は、弱視の方が読みやすい明るさを保ってほしい。	JISの照度基準などを踏まえ、明るさの確保に努めます。
1期棟はエレベーターの鏡が足元まで貼ってあるが、車椅子のステップが当たって割れそうで怖い。	鏡は床面から 50 cm程度の高さから設置します。
聴覚障害者は声を掛けられても反応できないため、エレベーターの両側に操作ボタンを配置してほしい。	両側に車椅子利用者用の操作ボタンを設置します。